

博物館からのお知らせ

博物館講座

7/27 土 標本講座
「化石レプリカを作ろう」
実物化石の型からレプリカを作成し、ラベルを付けて化石レプリカ標本の作り方を学習します。

時 間 10:00～12:00
対 象 小学生以上
場 所 研修室2
募集期間 6/29(土)～7/13(土)
定 員 各20名



7/28 日 標本講座
「昆虫の乾燥標本を作ろう」
身近な昆虫を用いて乾燥標本の作り方と標本を作る大切さを学習します。

時 間 9:30～12:00
対 象 小学生以上
場 所 研修室2・神宮の森
募集期間 6/30(日)～7/14(日)
定 員 20名



7/29 月 標本講座
「押し葉標本を作ろう」
標本の採り方、押し葉の仕方、台紙への貼り方を実際に体験しながら学習します。

時 間 10:00～12:00
対 象 小学生以上
場 所 研修室2
募集期間 7/1(日)～7/15(日)
定 員 20名



8/3 土 サルの島お掃除大作戦
無人島である幸島に船で渡り、そこに住む野生のサルを間近で観察しながら、海岸のゴミ拾いボランティアを行います。※健脚向きです。(小学生は保護者同伴)

時 間 9:00～12:00
対 象 小学生以上
場 所 幸島(串間市)
募集期間 7/6(土)～7/20(土)
定 員 20名



8/17 土 採集作品の名前を調べる会
夏休みの採集した植物・昆虫・貝・岩石・化石の名前を調べます。

時 間 9:00～15:00
対 象 小学生以上
場 所 情報室
募集期間 事前申込みなし
定 員 なし



8/24 土 ワークショップ
ふすまの下張り
文書はがしに挑戦!in都城

時 間 13:00～15:30
対 象 小学生以上
場 所 都城市コミュニティセンター会議室
募集期間 7/27(土)～8/10(土)
定 員 20名



9/1 日 さがそう!
干潟のへんてこ生き物たち
干潟で生活する動物たちを観察し、動物たちの名前や特徴を学びます。

時 間 10:00～12:00
対 象 小学生以上
場 所 塩見川河口(日向市)
募集期間 8/4(日)～8/18(日)
定 員 40名



9/15 日 小丸川下流域の考古学Ⅱ
旧石器時代から縄文時代のムラ
小丸川下流域の本館所蔵の考古資料や発掘調査された遺跡から旧石器時代～縄文時代のムラとその交流について学びます。

時 間 13:30～15:00
対 象 小学生以上
場 所 研修室1
募集期間 事前申込みなし
定 員 40名



9/21 土 基礎から学ぶ江戸時代

時 間 10:30～12:00
対 象 一般
場 所 研修室1
募集期間 事前申込みなし
定 員 40名



9/28 土 行勝山できのこの観察しよう
秋のはじめに見られる照葉樹林のきのこを行勝山で観察し、きのこの自然界での役割について学習します。

時 間 10:00～12:00
対 象 小学生以上
場 所 行勝山(延岡市)
募集期間 8/31(土)～9/14(土)
定 員 25名



博物館のお友だち
やよいちゃん
むーちゃん
神楽くん



講座の申込みは、次の方法で受け付けます。
詳細は、博物館にお問合せください。

①はがき ②FAX ③ホームページ
④来館時に総合案内

お問い合わせ **TEL 0985-24-2071**
FAX 0985-24-2199

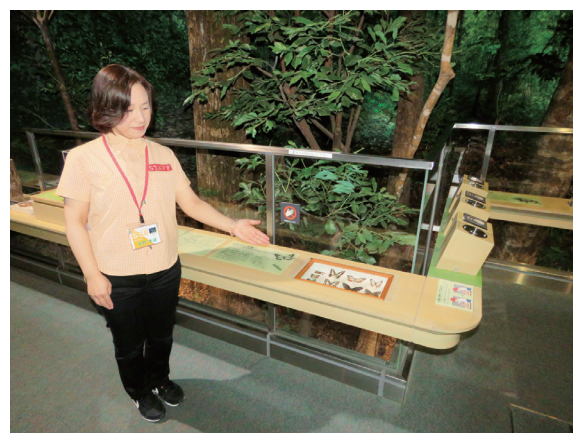
展示解説員の声

チョウと食草コーナー

自然史展示室の照葉樹の森には、チョウと植物の関係を紹介している「チョウと食草」のコーナーがあります。

チョウの幼虫は種類によって食べる植物(食草)が決まっています。また幼虫が食べた痕(食痕)にも特徴があり、食草と食痕はチョウの幼虫を探す際の大きな手掛かりとなります。

照葉樹の森の中にも8種類のチョウの幼虫(レプリカ)が、それぞれの食草の場所に隠れています。食痕も忠実に再現されていますので、ぜひ探してみてください。(姫野)



観覧時間・休館日のお知らせ

観覧時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休 館 日 毎週火曜日
★9/2(月)～9/13(金)は、館内燻蒸のため休館します。

博物館のホームページにはイベント情報、寄せられた質問とその答え、過去の「森の通信」、Facebook、ツイッターなどの情報が盛りたくさんです。ぜひアクセスしてみてください。

みやはく 検索

森の通信

第66号



発行日/2019年6月10日

発行 / 宮 崎 県 総 合 博 物 館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL (0985)24-2071
http://www.miyazaki-archive.jp/museum/ FAX (0985)24-2199

夏 2019 みやはく イベント情報

すごい化石
があった!

新みやざき化石展

～岡山清英コレクションの世界～

7月17日(水)～9月1日(日)
総合博物館 1階 エントランスホール
新たに寄贈された化石コレクションを一挙公開!

ギャラリートーク 8/12(月)・8/16(金) 15:00～15:30



川南町産の化石 左:アマダイ科魚類 右:イチョウガニ

みやはく 神楽体験こども教室

宮崎県内の神楽が博物館にやってきます。
見て・ふれて神楽を学ぼう!

7/13(土)・14(日)
13:00～16:00

- 神楽を見てみよう
- 笛や太鼓を演奏してみよう
- みんなで神楽を舞おう ほか



高千穂神楽

博物館こどもDAY

こどもたちを対象に自然や歴史に親しんでもらえるように、さわれる標本などのミニ展示やミニ講座、こどもたちによる民俗芸能公演(木花相撲踊り)などを行います。

8/25(日) 10:30～15:30

対象: 幼児以上
場所: エントランス
募集期間: 事前申込みなし
定員: なし



平日限定

むーちゃんをさがせ!

7/24(水)～8/30(金)
※お盆期間は除きます。

博物館のどこかに、みやはくのマスコット **むーちゃん** がかくれているよ。ヒントをたどって、むーちゃんを見つけよう!



紙芝居 お盆も紙芝居が楽しめます!

日曜・祝日と8/13(火)～16(金)
11:30～14:30～

ミニ紙芝居 1話だけの短い紙芝居です。

7/26・8/2・8/9・8/23
14:00から(約5～10分)

体験講座

見て・ふれて・つくって学ぼう!
いずれも受付は当日です。(先着順・人数制限あり)

戦国武将のかぶとをかぶってみよう!

8/12(月)・8/15(木)
13:30～15:00



光るきのこ観察会

7/21(日) 10:00～16:00

古墳時代のよろい・かぶとを型紙でつくろう

8/4(日) 13:30～15:30

光るきのこづくり

8/13(火) 13:30～15:30

簡単!アンモナイトレプリカ

8/11(日)・14(水)・18(日) 15:00から

講座紹介「昆虫の乾燥標本をつくろう」

「標本講座」は毎年恒例となっている夏休みの人気講座です。総合博物館では今年も地質の標本講座「化石レプリカの標本をつくろう」と動物の標本講座「昆虫の乾燥標本をつくろう」と植物の標本講座「押し葉標本をつくろう」を開催します。

動物の標本講座「昆虫の乾燥標本をつくろう」では、身近な昆虫であるコウチュウとチョウを用いて、展足の方法や展翅の方法を学び、実際に標本を作ります。注射器を使ったり、特殊な薬剤を使ったりすることもなく、簡単に作ることができます。

昆虫の標本は、標本となる昆虫が「いつ」・「どこに」存在していたのかを示す大変貴重なデータとなります。死んでしまえば死骸ですが、標本にすれば価値ある記録となります。ぜひ、あなたも自分だけの価値ある昆虫標本を作ってみませんか？(外山)



カブトムシ標本

どどこでも博物館

「どどこでも博物館」を知っていますか？宮崎県総合博物館では、宮崎市から離れた地域を対象に、博物館が出向き資料の展示紹介や体験講座を行う活動を行う「どどこでも博物館事業」を実施しており、今年で5年目になります。



これまで、県内各地の学校を中心に11カ所で開催。通常は博物館でしか見ることができない貴重な資料をはじめ、博物館の展示室のようすや会場付近の自然を紹介する空撮映像などをご覧いただきました。特に、去年は夏の特別展「むしムシ虫展」で展示した昆虫拡大模型トンネルや恐竜アロサウルスの頭骨レプリカが好評でした。

今年は、都城市立木之川内小学校(都城市)、延岡学園尚学館小学校(延岡市)、串間市民秋まつり(串間市)の3会場で開催。当日は当館職員が現地に出向き、博物館資料や体験的な資料を中心に解説を行うとともに、会場によっては映像資料の上映も行う予定です。また、博物館では来年2020年度開催会場の募集もスタートしました。

まずはお問い合わせください。(岩切・平松)



民俗展示の紹介 民家園

宮崎県内には、かつて地方独特の建築様式をもった民家が多数ありました。その中から特色のある四棟の茅葺き屋根の民家が県総合博物館の民家園に移築復元されています。これらの建物は今から約200年前の江戸時代後期に建てられたもので、五ヶ瀬町「旧藤田家住宅」と高原町「旧黒木家住宅」は国の重要文化財に、「米良の民家」と「椎葉の民家」は県の有形文化財に指定されています。

総合博物館では県民の皆様の民家園に対する理解促進を図るために、伝統文化や民俗伝承などの催しや行事を実施する個人や団体に、無料で県指定の民家を貸し出す「民家園利用事業」をスタートしました。民家園の利用を希望される場合は、総合博物館までご連絡ください。(野添)



収蔵資料紹介 刀

表銘：日州古屋之住国廣作
裏銘：天正五年十月吉日
刃長：80.2cm 反り：2.2cm



国広は、日向国古屋(現在の宮崎県東諸県郡綾町)の田中家に生まれ、刀工として戦国大名伊東氏に仕えました。江戸時代になり京都の堀川で「堀川物」という作風を生み出し、高い評価を得て多くの弟子たちを育てました。そのため、「新刀の祖」とよばれています。

この刀は天正5年(1577)作で、「古屋」と書かれた作では最も古く、銘の「国」(註：国広の作品のほとんどが「國」銘です)も珍しい刀です。島津氏との戦いに敗れた伊東氏が同年12月に日向国から豊後国に逃れており、その直前の混乱の中で制作したものと思われます。田中家に伝来し、現在は本館の所蔵となっています。

刀の姿が美しく、刃文は下の方が直線的な「直刃」基調で、上の方はゆったりした波のような「湾れ」に、丸い文様が連続する「互の目」交じりです。太平洋戦争後にGHQによる接收を免れようと地中に埋められてできたサビの影響で、刃の部分や茎(註：刀の持ち手の部分)に傷みがあります。中世から近代までの歴史を刻んでいる貴重な資料です。(粕木)

利用者からの問合せ 子持家形埴輪のモデルは？

西都原170号墳(西都市)出土の子持家形埴輪は母屋の前後と左右に2棟の小さな建物が付いた独特の形状をしています。母屋が伏屋であることから竪穴建物を表現しています。全国的にも数例しかなく、完全に復元された唯一のものです。埴輪のタイプから女狭穂塚古墳ではなく、男狭穂塚古墳の陪冢と考えられることから男狭穂塚古墳に葬られた首長の居館に実際に建てられた建物群の一つをモデルにして縮小して表現した可能性があります。(長津)

